

特集

今回は…“京都山科珈琲”をご紹介します！

次の4月で6年目を迎える山科工房のカフェ、京都山科珈琲！
平日火曜～金曜は山科工房のスタッフ、土日はご近所に住む松村夫妻と店舗をシェアして営業しています。
毎週水曜はギター教室やコーラス教室などの貸切営業をしていたり、土日は松村夫妻がモーニングを出して
いらっしゃったりして、ご近所さんの憩いの場となって毎日盛り上がっています！！



←夏季限定のかき氷。おススメの自家焙煎珈琲氷はほろ苦い大人の味*

工房で焙煎した新鮮なコーヒーはもちろん、フードも充実！
夏はキーンと冷たいかき氷！冬は蒸し立てアツアツの肉まん！
季節限定ケーキやドーナツなども常時取り揃えています。



←伏見区のだいが学園さんのケーキ、ダブルショコラは仕入れてもすぐに売り切れてしまうほどの大人気！

→冬季限定の肉まん & あんまんは、上京区のまんまん堂さんのものを販売しています。コーヒーとも相性抜群です！激熱注意っ！



←職員手作りカスタードプリン！
ほどよい甘さと食べ応え抜群の大きさ！毎週数量限定なので、週末はほぼ売り切れています…。

お店で飲むコーヒーは格別ですよ！
ご来店お待ちしております☆



最後に山科工房でのコーヒー作業の立ち上げから携わっている職員から一言！

今年で6年目の京都山科珈琲です。家主オーナーさんの協力で立派なスピーカーやレコード、アンティークな調度品が並び、レトロなJAZZ 喫茶の風情。上品なカップで提供する本格珈琲が人気です。ケーキやクッキー、中華まんなども地域の福祉事業所の美味しいものをセレクトして仕入れています。ご近所はもちろん、珈琲好きや音楽好きの方がじわじわとご常連になってくださいました。常連の皆様は山科珈琲ファミリーといった感じで、お友達を誘ったり、新メニューを試して下さったり、チャリティーライブで寄付を募って下さったり、催事の出店に立ち寄って下さったり、いつも応援して下さいます。山科工房一丸となって生豆から丁寧に仕上げる美味しい珈琲が、お店を通じて人を繋いでくれているのを感じます！最近では地域の福祉事業所のスタッフさんがお客様として訪れた時、お店の雰囲気と珈琲を気に入ってくださり、利用者さんにも体験してほしい！と事業所の行事で立ち寄ってくださいました。育成会の皆様も、ぜひ京都山科珈琲のお店を訪れてみてくださいね。

コーヒー豆のご注文は電話、FAX、メールで！HPからも注文できます！Facebook もゆる〜く更新中
電話：075-593-7070 FAX：075-593-1339

メール：yamashinacoffee@yahoo.co.jp HP アドレス：www.yamashinacoffee.com

Facebook：<https://www.facebook.com/yamashinacoffee/>



工房だより



発行元：事業所運営委員会
発行日：令和5年1月18日

工房の様子 (9~12月)



西大路工房



西大路工房は、毎年夏・冬にはイベントに参加しています。

先日は 12/28 京都市障害者スポーツセンターで開催された”冬のわくわくフェスタ”に出店しました。コロナ禍の影響でここ数年は縮小されていた開催で出店数は7店舗でした。ですが、たくさんの方が足を止めて、さしこふきん・アクリルタワシ・巾着など自主製作した商品を手に取りご購入いただきました。



また、パンやドーナツは行列ができるほどの人気でお昼過ぎには売り切れるほどでした。ステージでは中学生の吹奏楽の演奏やダンスパフォーマンス・ジャグリングと会場一体となり盛り上がる様子がみられ、たくさんの方が楽しい時間を過ごしておられました。

西大路工房は、今後も積極的にイベント出店していく予定です。



❄️🧑‍🎨❄️ 自立センター竹屋町工房 ❄️🧑‍🎨❄️

竹屋町工房の9月から12月の作業の様子ですが、清掃関係は、安定して各月作業行っています。しかし、新型コロナウイルス第7波の影響もあり、感染対策をしながら作業を行っています。毎日ヒヤヒヤの作業状況でした。下請け作業の状況は、わらび餅箱詰め作業ですが、コロナ禍とはいえ毎月納品数少なめですが、作業があり、特に11月、12月前半にかけては、納品数が増えました。ファイル挟み込み作業については、9月から12月まで毎月コンスタントに作業があり、皆さん張り切って作業されています。



❄️🧑‍🎨❄️ 山科工房 ❄️🧑‍🎨❄️

毎月第3土曜日の午前中は開所日となっています。月ごとに内容は変わりますが、ドライブに行く、工作をする、ビデオを観る、などから自分の好きなプログラムを選んで半日活動しています。12月はドライブ班と絵葉書作り班の2つに分かれて活動しました。絵葉書作りでは京都橘大学のまちづくり研究会という学生団体さんから学生が2名、工房に来ていただいて、絵葉書ワークショップをしました。コロナ禍で行動が制限される中、なかなか会えない大切な人に手書きで想いを込めた絵葉書を作りましょうという趣旨で、みんな“誰に渡そう…”といろいろな人を想像しながら思い思いに絵葉書を作りました。普段、あまり外部の人が来ることはないの、若い学生さんが来てくれてみんな大盛り上がり。一緒に絵葉書作りをして楽しく交流しながら活動できました。



↑まちづくり研究会さんは山科区を活性化させることを目的としてさまざまな活動をしているそうです。絵葉書の形は山科なすびをモチーフにしたゆるキャラ“もてなすくん”!



←あて先はお家の人、グループホームの世話人さん、工房の担当職員など人それぞれ。気持ちを込めて絵葉書作り! みなさん、作った絵葉書は手渡ししたそうです!



←絵葉書に使うハンコや折り紙。学生さん手作り消しゴムハンコもあり、何を使おうか、みんな悩んでいました。

❄️🧑‍🎨❄️ 工房“七” ❄️🧑‍🎨❄️

変わりなくとは言えませんが今日もいつものように皆さん通所しておられます。スタッフではありますが、「また一年、利用者さんが七でも変わりなく気持ちよく過ごせるよう努めてまいります」の気持ちも込め、年末にかけて掃除しました。年明け、七のお茶ポット新しくなりました。(お茶のポットが新しくなった、というのは実はかなりのニュースです。)



↑新しくなったお茶のポット。なぜ、かなりのニュースなのか…。みなさまはわかりますか? 気になる方は七の職員まで!!

❄️🧑‍🎨❄️ 伏見工房 ❄️🧑‍🎨❄️

今回は、昨年の11月に行われた育成会の運動会のことについてです。新型コロナウイルスのことがあり、実に3年ぶりの開催でした。伏見工房からは13名の方が参加され、「いくつかの支部が統合されて大きな支部のくくりになったことにびっくりした。」「スプーンにボールを乗せて走る種目が難しかった。」という感想が聞かれました。翌日の工房内は豪華なお弁当やもらった景品のことで盛り上がりました。多くの方々のご協力があったの運動会だということを忘れず、次回も楽しい時間を過ごせますように。(伏見工房)

